

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路）の埋立護岸部に使用される宇久須産岩ズリ抜き打ち調査の実施について

トピックス

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事では、現在、埋立部の護岸築堤工事を最速で進めています。

護岸築堤工事では、その基礎部分に岩ズリ*1を投入して下部堤体を築造します。この岩ズリ材料について、平成20年6月5日（木）～6日（金）、本省航空局と当事務所は、岩ズリの投入状況および土源の出荷状況について、抜き打ちで調査を実施しました。

岩ズリ投入状況調査は、6月5日（木）夜間（材料が夜間に到着するため）、受入れ側である現場海域において、岩ズリの確認を行いました。調査当日において岩ズリ投入作業を実施していた護岸・埋立I工区（五洋建設他）の作業船2隻、IV工区の作業船1隻の全船について、岩ズリの目視確認及びその場で比重試験*2を実施し、運搬されてきた岩ズリの品質を確認しました。これにより運搬されてきた岩ズリに特段の問題はないことが確認されました。

一方、搬出側である岩ズリ材料の土源調査は、6月6日（金）、西伊豆の砕石場において岩を切り出している岩肌（切羽）の状況、積み込み桟橋までの輸送状況および土運船への積み込み状況などを確認しました。まず、切羽での地層確認、切り出している岩（岩ズリ含む）、斜面に堆積している赤色土の目視調査等により、岩ズリとして問題ないことを確認、併せて、ベルトコンベアによる輸送状況及び船舶への積み込み状況を調査し、異物混入の可能性もなく搬出側においても問題ないことを確認しました。

このように、今後も護岸埋立工事においては、水質に影響を与えることのないように材料の品質確認の徹底を図り、請負者が実施する環境モニタリング調査及び当事務所職員による水質調査等により、環境監視を行いながら、細心の注意を払って施工し、今月末には施工を完了する予定です。

*1 岩ズリ：岩を破碎した材料（粒径0～300mm程度）。

*2 比重試験：水の重さを1とした場合の同体積の検体の重さ（比重）を求める試験。

平成20年6月17日

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 うえはら はらだ 上原・原田
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階
電話 03-5756-6577
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

埋立護岸部 岩ズリ調査(6/5現場海域調査、6/6西伊豆土源調査)

<6月5日 現場海域調査>



ホッパー投入状況

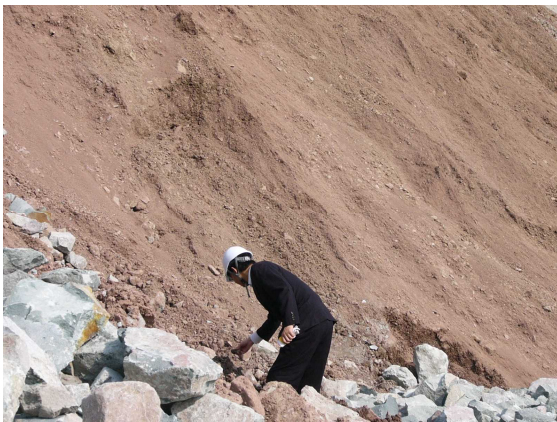


運搬船土取り状況



比重試験状況

<6月6日 西伊豆土源調査>



地山の目視確認状況



地山の目視確認状況
(遠方からは土に見える部分も、間近で見ると砕いた石の塊)



船舶積み込み確認状況